

## 実質化された人・農地プラン

市町村名	対象地区名	作成年月	直近の更新年月
南会津町	田島・田部原	令和4年3月	

### 1 対象地区の現状

①地区内の耕地面積	156.5 ha
②地区内の農業振興地域の農用地面積	90.7 ha
③アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕作面積の合計	79.1 ha
④地区内において70才以上の農業者の耕作面積の合計	46.2 ha
i うち後継者未定の農業者の耕作面積の合計	38.8 ha
ii うち後継者について不明の農業者の耕作面積の合計	0 ha
⑤地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計	2.5 ha
(備考)	

### 2 対象地区の課題

<ul style="list-style-type: none"><li>・中心市街地の地区であり、高齢化も進んでいることから農業を行っている人が少ない。</li><li>・商業施設等への開発が進んでいて農地が減ってきている。</li><li>・所有者、地域住民の農業に対する関心が低い。</li><li>・郊外にある水田は中心経営体及び地区外の担い手に集約されており、大規模の畑については中心経営体に集約されているが、小規模の畑については引受けの意向がなく、遊休農地の増加が懸念される。</li></ul>
---

### 3 対象地域内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

<ul style="list-style-type: none"><li>・引き受け意向のある中心経営体へ集約して貸付を行うが、受け入れきれない農地については入作者で対応するほか、新規就農者の育成や他地区の法人の受け入れを促進していく。</li></ul>
---

#### 4 3の方針を実現するために必要な取組に関する方針(任意記載事項)

##### ○作物に関する取組方針

大面積でできる土地利用型作物(水稲・そば)の栽培によって現行の耕作面積を維持し、遊休農地の発生を抑える。